

## 編集後記

昨年3月11日の東日本大震災の後、復興に向けて多くの努力がなされている。横幹連合も、「会員学会の震災対応の取組み」を調査し、一覧表をホームページに掲載している。この一覧を見ると、多くの学会がそれぞれの専門分野から何らかの支援をしてゆこうという姿勢がよくわかり、様々な面からの復興支援があることが理解できる。

本号のミニ特集では、2012年1月に開催された横幹技術フォーラム「強いぞ！日本～社会情報学の視点から東日本大震災からの復旧・復興を考える～」でお話しいただいた先生方にご執筆いただいた。東日本大震災では、携帯電話やメールなどによる連絡ができなくなったり、津波の情報、避難の情報、支援物資に関する情報が不足したりなど、情報発信や伝達などに関する様々な問題点が浮き彫りにされてきた。このような情報に関する問題という点、工学系の頭では携帯電話の通話処理能力や、メールなどの通信能力など、ハード面での対応を考える

ことが多いのであるが、社会学系の視点からは、復興を妨げる法律上の問題や震災経験による意識の変化などが取り上げられている。また、津波をかぶった写真のデジタル技術による復元など、情報技術によって人々の心のケアに役立つ例が示されている。

横幹連合では、震災対応プロジェクトを本年3月に立ち上げ、強靱な社会の構築に向けた将来構想を提示するための活動を行ってきている。このプロジェクトでは「生活における社会の強靱性の強化」、「経営の高度化と強靱性の強化」、「環境保全とエネルギー供給における強靱性の強化」の3つのワーキンググループが作られ、会員学会から参加者を募って活動を行っている。横幹連合では、いわゆる理科系と文科系の学会の両方が会員学会として活動に参加しており、様々な視点から震災対応が検討されることが期待できる。文理融合によって新しい視点が開け、より適切な対応策が生まれることを期待している。

会誌編集委員 青木 和夫（日本大学）

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### 2012年度役員

会 長	出口光一郎（東北大学）	
副 会 長	田村義保（統計数理研究所）	安岡義文（科学技術振興機構）
理 事	青木和夫（日本大学）	池上敦子（成蹊大学）
	板倉宏昭（香川大学）	乾 正知（茨城大学）
	上野元治（未来工学研究所）	大場允晶（日本大学）
	長田 洋（東京工業大学）	岸野文郎（関西学院大学）
	木野泰伸（筑波大学）	庄司裕子（中央大学）
	田中秀幸（東京大学）	玉置 久（神戸大学）
	寺野隆雄（東京工業大学）	平井成興（千葉工業大学）
	船橋誠壽（横幹連合）	本多 敏（慶應義塾大学）
	松岡由幸（慶應義塾大学）	矢入郁子（上智大学）
	六川修一（東京大学）	渡辺美智子（慶應義塾大学）
監 事	木村英紀（理化学研究所）	山崎 憲（日本大学）

#### 2012年度 会誌編集委員会

委 員 長	松岡由幸（慶應義塾大学）	
副委員長	玉置 久（神戸大学）	
委 員	青木和夫（日本大学）	池上敦子（成蹊大学）
	乾 正知（茨城大学）	大野富彦（群馬大学）
	加藤象二郎（愛知みずほ大学）	加藤健郎（東海大学）
	金子勝一（山梨学院大学）	税所哲郎（群馬大学）
	庄司裕子（中央大学）	椿 広計（統計数理研究所）
	長嶋雲兵（産業技術総合研究所）	滑川 徹（慶應義塾大学）
	奈良高明（電気通信大学）	福田隆文（長岡技術科学大学）
	藤井 享（(株)日立製作所）	三宅美博（東京工業大学）